

2017年7月11日

『認知症サポーター養成講座』

勉強会記録 vol.5 名古屋市東区いきいき支援センター

社会福祉士 若尾 太一 氏

文責：株式会社エイジェントヴィレッジ
館・山口



★認知症の現状について

462 万人の認知症患者
400 万人は MCI(軽度認知障害)
高齢者 3000 万人に対して 1/4 を占める
若年性認知症 38,000 人

●名古屋市の状況

高齢者 55 万人
介護保険の認定者 99,000 人
見守り支援が必要な認知症高齢者 54,000 人
若年性認知症 1,000 人

★認知症とは？

老化による物忘れ：体験の一部を忘れる
認知症：体験自体を忘れる

中核症状：記憶障害、実行機能障害・失語、
失行、失認、見当識障害

認知症は心の病気ではなく体(脳)の病気
原因は 100 以上あるが、大きく分けて 4 種類
・アルツハイマー型認知症
・レビー小体型認知症
・前頭側頭型認知症(ピック病)
・脳血管性認知症

脳血管性は治る可能性もある。

早期発見・早期治療が大切。

自尊心・羞恥心を考慮して、本人の前で話さず、
家族が医師に症状を記載した紙を渡す配慮。
アルツハイマー型は治すではなく食い止める。
認知症の薬は進行を遅らせるもの。

認知症初期集中支援チーム

6 か月を目処にチームで集中的に対応し受診
やサービス利用が出来るよう支援する。

受診までの平均は 9.5 か月。

時間がかかる理由：本人が嫌がる、加齢と誤認





認知症になりにくい生活習慣

- ・脳活性化リハビリテーション(音読、計算など)
- ・予防にいい食べ物(サプリではなく青魚など)
- ・性格(頑固・自己中心的だと認知症になりやすい)

★周り(家族)の心理について

認知症が疑われる方の家族の反応

- ・とまどい、否定
- ・認知症への理解の不十分さから虐待
- ・割り切りの時期→受容

★対応方法について

- ・声掛けは工程を一つ一つする
- ・ご飯を食べたばかりで欲しがる
 - × さっき食べたじゃない!
 - 気をそらす
- ・何度も同じことを聞く
 - × 何度同じことを聞くの?
 - 否定しないで対応
- ・私の財布盗んだでしょ!
- × 私は盗んでない!
- 本人が見つけるように促す

認知症は長い時間をかけて脳細胞を侵す病気
病気を正しく知り、独立した個人として見る。

認知症の方への対応の心得

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

認知症になったからといって、その人自身が
変わるわけではない。

★認知症サポーターとして

認知症サポーターは特別なことをするのではなく、
認知症を正しく理解し、優しく接することができる人。

★エイジェントヴェリッジとしてできること

認知症カフェなどでお話

(老後のお金のことなどに興味のある方が集まる機会がある)

→ハッピーエンディングカードなど

